豊穣の郷だより

人と水環境のネットワーク

Vol.72

2015 年7月 1 日　発行部数 1000部

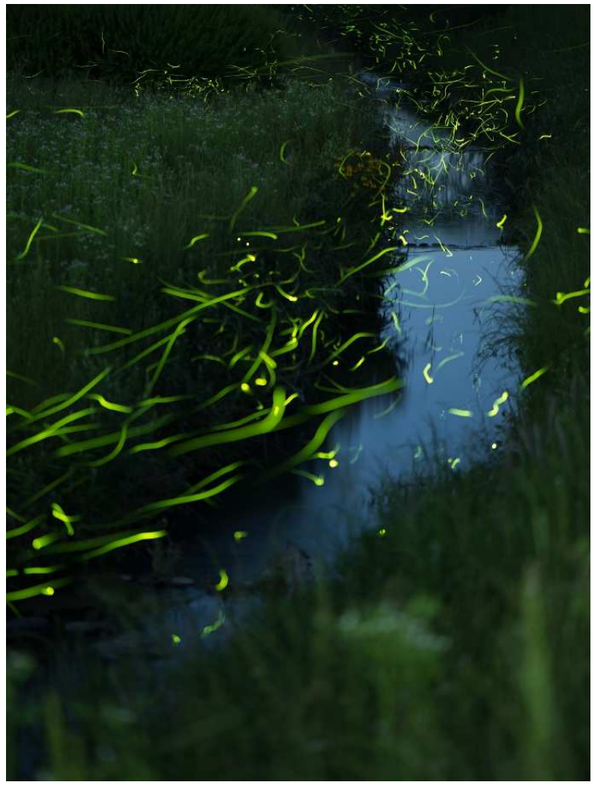
発行　認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷
理事長　長尾　是史
編集　環境情報発信事業部会

住所　守山市勝部五丁目１０番地２５号
TEL　077-583-8686（有線 583-8686）
FAX　077-558-5007
E-mail　houjyounosato@lake-biwa.net
URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/

ホタルの光に癒されました

～ 第12回守山ほたるパーク＆ウォークを終えて ～

第 12 回守山ほたるパーク＆ウォークを、5 月 29 日（金）～6 月 7 日（日）の日程で開催しました。



目田川沿いのホタル（藤田英治さん撮影）撮影日 5/17

今年の守山のホタルは、平年より 1 週間から 10 日も早く飛翔のピークを迎え、パーク＆ウォークの期間を迎えるまでに見ごろが済んでしまうのではないかと、スタッフをヤキモキさせました。

しかし最初の週末は、ピークはやや過ぎたものの、吉川川や守善寺横の金森川で、幻想的に舞う姿を見せてくれました。

また、目田川やほたるの森資料館のほたる河川の飛翔も早かったので、観賞者が分散して大きな混雑もなく、楽しんでいただけたようです。

そして今年の大きな変更は、期間中の金、土、日に運行した「ホタルエコバス」を無料にしたことです。おかげで 3,700 名もの多くの乗車がありました。

更にバスガイドやウォーキングガイド、インフォメーションブースなど案内面に力を入れたことは、観賞者へのサービスの充実の他、スタッフとの交流も生まれ、たいへん楽しかったと好評でした。

また、パーク＆ウォークの環境部会が中心となって運営した「もぴかの家」では、ケージでのホタル展示やクイズ、折り紙体験やコーヒー、クッキーの販売など、様々な趣向でホタル観賞に訪れた人々をもてなし、もぴかの家を目当てにバスを降りる人もいるほど盛況でした。

ぴかの家のスタッフのみなさん

このように、守山ほたるパーク＆ウォーク流の“おもてなし”に対する評価も高かったようです。

その一方で、異常気象とはいえ、ホタルの飛翔数が少なかったことは残念です。

とはいえ、「安全第一、観賞者もスタッフも心から楽しめるイベントを」という目標は、ほぼ達成出来たのではないでしょうか。

一日の大雨を挟み、期間中約 30,000 人のお客様をお迎えしました。来年はもっとたくさんのホタルと一緒に、皆さんをお迎えしたいと思います。

毎日遅くまでこのイベントのために協力し、盛り上げて下さったスタッフの皆さん、お疲れさまでした。も本当にありがとうございました。

これからの活動予定

皆さんの参加をお待ちしています！

各行事に関するお問い合わせは

認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷　TEL：077-583-8686　まで

2015年度　行事予定（日程、内容は変更になることがあります）

・目田川モデル河川作業日（毎月第 3 土曜）　・河川水質調査（8月.・11月・2月　第2土曜日）

行 事 名	開 催 日	備 考
赤野井湾探検会	7 月 25 日（土） 9：00～13：00	参加費中学生以上 1,000 円 小学生　５００円（募集 40 名） 当日スタッフ募集中！
先進地研修会	8 月 5 日（水） 集合 9：00	瀬田・草津方面 （シジミ採り体験・琵琶湖博物館） 募集人数 25 名 参加費 2,000 円
水辺の楽校(夏編)	8 月 22 日（土）	会場：目田川 詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。
守山の水辺百選講座	11 月 1 日（日）	詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。
水生生物調査	11 月 28 日（土）	詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。
水辺の楽校(秋編)	12 月 5 日（土）	会場：ほたるの森（市民運動公園内） 詳細は決まり次第ホームページで広報
水辺の楽校(春編)	3 月 26 日（土）	会場：目田川 詳細は決まり次第ホームページで広報
赤野井湾・小津袋 クリーン大作戦	3 月 13 日（土）	清掃とオオバナミズキンバイ 除去作業

しじみのひとりごと

2015 年度の総会は、あまが池プラザにて多数の会員のもと、無事終了することができた。環境問題については、今年も積極的に会員で取組んでゆきたい。

昨年の滋賀 CSR 特別賞の受賞は大きなはげみになり、オオバナミズキンバイについて関係団体と共にゼロを目ざしてゆこう。現在びわこ豊穣の郷では「ホタル」と「しじみ」が二大看板である。

しかし現在のところ、シジミまでは手が出せずにいるのが実情だ。これらを反省し、今年の先進地研修は「しじみ」関係について考えてみたい。シジミの声をしずかに聞きながら我々の取組みについて、しっかり検討してゆこうと思う。一人でも多くの参加をお願いしたい。

KI

アンケートへのご協力ありがとうございました。

2015 年 3 月に実施しました、「びわこ豊穣の郷」の活動と、これからの水環境保全についてのアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。個人会員、賛助会員、合わせて 324 名にお送りしましたところ、ほぼ 7 割の 223 名の方から回答を頂くことができました。これは会員の皆さんの豊穣の郷への関心の高さの表れと思われます。

調査結果は、後日報告させていただきます。

地域環境社会学研究会
代表 京都府立大学准教授
野田　浩資

2015 年度通常総会

～20 年の節目をスタートラインとして次世代に繋げる NPO へ！～

びわこ豊穣の郷は、赤野井湾に軸足を置いて、シジミがよみがえり、ホタルが飛び交うふるさと守山をめざして、さまざまな水環境の活動を行ってきました。その甲斐あって、守山のあちこちの河川で、ほたるが飛び交ってくれるようになって来ました。楽しみにしている守山ほたるパーク＆ウォークも、5 月 29 日の金曜日から始まります。一昨日、会議が終わり、ホタルが飛び交っているか偵察しました所、既に土橋付近で 100 匹以上、守善寺で 10 匹、この会場横で 4 匹が飛び交っていました。大変うれしいことです。今年は、活動を始めて、20 年目を迎える節目の年になります。会員の皆さんが、コツコツと活動を積み上げて下さった結果、計り知れない多くの成果を生み出す事が出来ました。

反面、まだまだ克服しなければならない問題もたくさんあります。積み上げてきた活動が、社会からも高く評価され、この 4 月に滋賀県と滋賀経済同友会から「滋賀 CSR 経営大賞特別賞」を頂く事が出来ました。また昨年は、寄付をした人が税制優遇を受ける事が出来る「認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷」として、滋賀県からのお墨付きを頂きました。この認定制度を活用して理事を先頭に、知人、友人、企業から「ほたるサポーター」を募ったところ、昨年度は 100 名近い方々賛助会員として、ご協力を頂きました。

今年の総会は、今日まで取り組んできた 20 年間を節目として、様々な活動を洗い出し、成果と課題を全員で共有し、豊穣の郷の活動を次世代に継承するスタートラインにしたいと思います。（理事長挨拶より 5/16 あまが池プラザ於）

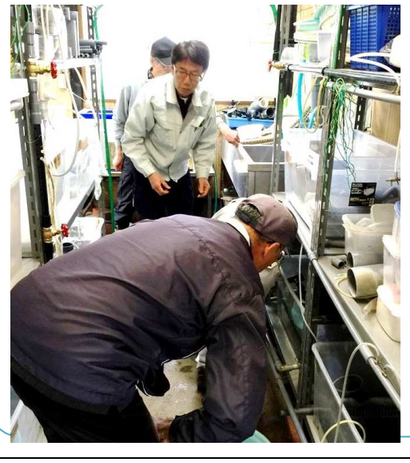
はい！こちら「ホタル研究室」です

もぴかプロジェクトのメンバーが月、数回のサイクルで「ホタル研究室」に出向き、ほたる飼育のための支援を行なっています。今の時期は 7 月初旬にホタルの卵から幼虫が生まれ、その幼虫が食べるエサとなるカワニナの稚貝を育て、稚貝(約 5,000 匹)を毎回取り出し幼虫を育てる水槽(16 基)に稚貝を入れる作業を行なっています。この水槽で幼虫の受け入れ態勢を備えています。

又、研究室の周りでの雑草の刈り取りにも汗を流しています。

もぴかプロジェクトメンバー一同、来年も多くのホタルの飛翔が見られることを願い、飼育に精を出しています。

興味のある方は、一度研究室にお立ち寄りください。



作業風景

目田川生き物図鑑 作成します！

当法人は様々な親子対象の体験学習を行っています。その際には子どもたちの生き物に関しての質問が多く、中にはスタッフもすぐに答えることが出来ないものも有ります。そのようなときに副読本として参加者に配れる図鑑のようなものが欲しいとの声を良く聞きます。そこで、小学生にも分かるような、守山の水生生物についての資料作りを計画し、守山市の「市民提案型まちづくり支援事業」に助成金申請を行った結果、採択されました。来年 3 月の完成を目途に、有識者のアドバイスを頂きながら進めます。どうぞご期待ください。

第 5 回オオバナミズキンバイ除去大作戦実施

～ コツコツと確実に ～

オオバナミズキンバイ除去作業風景（芦刈園）

梅雨の中休み、前日までの雨に洗われた比良山系が美しい 6 月 28 日（日）に、第 5 回オオバナミズキンバイ除去大作戦を行いました。滋賀銀行からの 70 名を始め、学生ボランティアの IVUSA、小津学区、積水化成品工業、守山市職員互助会など総勢約 230 名が懸命に汗を流しました。

今回は、新守山川の浜街道下流と河口、赤野井湾、小津袋のヨシ帯の中など、機械が入ることができず、人の手でしか除去できない場所での作業でした。どこも除去がしにくく、手こずりましたが、泥だらけになりながら、180 ㎡ 2 t のオオバナミズキンバイを除去することができました。しかし、まだまだ完全除去には至らず、黄色い花を付けたこの水草を残して作業を終えるのは、大変心残りでした。今後のオオバナミズキンバイ除去プロジェクトの活動の課題となりそうです。

「びわこ地球市民の森」のつどい２０１５に出展しました

好天に恵まれた 5 月 24 日（日）10 時、大勢の人が”びわこ地球市民の森（里の森ゾーン）”に集まって「びわこ地球市民の森」のつどい 2015 が開かれ、びわこ豊穣の郷も出展参加しました。例年通り共同出展する守山市役所職員互助会の新人職員 36 名も馳せ参じ、ブーブー笛とほたる折り紙、それに、互助会独自の缶バッジつくりで、多くの来場者、特に子どもとその親達を呼び寄せました。ブーブー笛とほたる折り紙は新人職員には未体験のものでしたが、作り方、折り方を簡単に説明しただけで、すぐに来場者に対応してもらえました。笛は予めリードを取り付けるところまで、当法人の方で準備しておきました。ブーブー笛は子どもに人気があり、11 時の展示開始から 1 時間足らずで、準備した 100 本のヨシが尽きてしまうほどでした。一方、「吹いても鳴らないよ」と持ってくる子が何人かあり、その都度試行錯誤・悪戦苦闘してなんとか鳴るように手直しして返しました。リードを取り付けるときに鳴ることは確認していましたが、それでも鳴らないものがあり、なかなか 100%とはいかないようで、今後も研究が必要だと思いました。ともあれブーブーという音は子どもの関心を引くものであり、引き続き出展に努めたいと思います。

子どもたちに人気だった体験型ブース